

## 第8回 新県民体育館整備等基本計画検討会 議事録

- 日 時：令和8年4月17日(金)13:00～15:00  
場 所：高知城歴史博物館 1階ホール  
出 席：委員11名中9名出席 ※中嶋アドバイザー出席、山花アドバイザー欠席  
出席委員：石塚委員、神谷委員、刈谷委員、寛藤委員、北村委員、坂本委員、  
玉乃井委員、久川委員、古谷委員 ※田中委員、森委員が欠席  
⇒互選の結果、委員長に石塚委員、委員長指名で副委員長に刈谷委員が決定  
議 事：(1) 検討会におけるこれまでの主な論点や課題等への対応  
(2) 今後のスケジュール  
(3) 整備・運営手法  
(4) 整備コストの財源内訳（公共施設等適正管理推進事業債）  
(5) 防災機能のあり方  
報 告：(1) 高知ちばさんセンター大ホールのあり方検討会  
(2) 賑わいづくり（事例紹介）  
第1回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

### 1 開 会

#### <委員長挨拶>

・この新県民体育館の位置づけについては、当然スポーツ振興という視点は外せないところであり、県の健康長寿県構想における利用者の健康というところにもつながってくる。また、街の賑わいであったり、観光振興という機能でも非常に重要な施設になると思う。本日は各専門の委員の皆様から、ぜひ建設的な意見と、この後県の方から説明のある計画案について、懸念点や注意すべき点について意見をいただきながら、よりよい計画づくりに生かしていただくような会になればと思う。

### 2 議 事

#### 【議事(1)、(2)】

#### <石塚委員長>

・これまで皆様から意見をいただいたことは、基本計画にいかしていただきたいと思うが、全ての意見を実施するというのは難しい部分も出てくるかもしれない。そういう意味では皆様の意見や、今後パブコメも含めて、多くの住民の方々にも説明をした上で意見をいただくということになると思うので、それも踏まえて、県が責任を持って判断をしていただくということによってよいと思う。それから、今年の夏頃までに、基本計画を策定するというスケジュールについて、残りの検討会の回数については、状況を見て開催することになるかと思うが、基本計画案をまず策定し、皆様に公開をした上で、より良

いものにしていくということが求められると思う。

### 【議事（3）】

#### ＜石塚委員長＞

・スポーツをする施設（社会体育施設）に加えて、アリーナ機能を融合した複合的な施設という観点から、利用される県民の方々の利用料金も含めて、サービスの質がきちんと担保され、よりよりサービスが受けられるためにはどの整備・運営手法が良いのか。  
⇒県）現在三つの方式について可能性があるという評価をしているが、新県民体育館の社会体育施設という機能を踏まえると、現時点では、「DB+指定管理」という方式が有力な選択肢と考えられる。

#### ＜北村委員＞

・この基本計画の中に一体的に含まれる障害者スポーツセンターのプール機能は社会体育施設になってくるが、収益性を重視してその活動が弱まると、非常に苦しいが、施設の運用に関して、どのように外の意見等が反映されていくのか。  
⇒県）仮に「DB+指定管理」となった場合は、従来の指定管理施設の指定管理者の選定と同じ方法。もし「PFI方式」もしくは「DBO方式」となると、最初から運営管理まで含めての契約となるため、県が作成する要求水準書の中で、運営管理の部分までしっかり内容を落とし込むことが必要になってくる。いずれの手法を選択するにしても、プールのような社会体育施設の利用がきちんと配慮されるよう、意見を取り入れていくように考えている。

#### ＜中嶋アドバイザー＞

・最近の目立った例としては、昨年運営開始した愛知県のIGアリーナや、近くの豊橋市のアリーナ、静岡市のアリーナなどがあるが、共通点としてはBリーグの強豪チームがあり、Bプレミアのホームアリーナ要件であるVIPルームやセンターハングビジョンなども備えて、コンサート等のイベントを積極的に誘致し、収益を生むことを重視する施設ということが特徴で、これらの施設はすべてコンセッション方式が導入されている。一方で、スポーツや住民のイベントを実施するいわゆる社会体育施設も、昨今老朽化が進んで整備の件数はたくさんあるが、そういった形の施設は、PFIのBTOやDBO、DBの例もある。

・物価高騰が大きな問題になっており、民間需要が一定数あることや民間事業者側の供給能力が逼迫しているという事情もあり、民間事業者も必ずしも公共事業だけをやっているわけではないので、価格が合わないとか期間が短いなど、条件がよくないと見られると不調となる案件も多い。したがって、今まで以上に民間事業者の参入意向をタイムリーにつかんでいく必要があるというのが、最近のトレンド。

・それを踏まえて、本件の整備・運営手法について、一般論としてオールマイティーな手法はないので、県として何を重視するか、この施設がどういう性格か、あとは受託する民間事業者がいるのかというところを、中心に考えていく必要がある。

・本件については特徴として、Bリーグのホームアリーナということではなくて、社会体育施設の要素が結構強い施設であるという印象を受けている。また、将来的にはもしかしたらBリーグチームのホームアリーナという可能性もあるかもしれないが、そうなるのかどうか、いつなりそうかとかいう予測がまだできてないというのも一つの特徴かと思う。また昨今の状況として、入札不調が多いので、民間事業者の参入しやすい手法かということも考えていく必要がある。

資料3-1の一番左の従来手法というのは関係者みんなになじみのある手法であるというのが一番のメリットだが、設計、施工が分かれているので、設計側が施工のコストや期間、責任を負わないということと、設計の完了後ということで施工の入札時期が少し遅くなるため、物価上昇の局面では、不調の確率が少しずつ上がっていくという可能性もある。

・一方、コンセッションについては、通常は、しっかり民間に投資してもらい、しっかり収益を上げてもらう想定で施設に採用される。年間30日ぐらいのバスケの試合のプロスポーツの安定収益が市民利用よりもイベント開催に重点を置くなど自由度の高い運営、投資回収のための長期の事業期間、また基本的には、運営費用が独立採算で成立するような収益性がある施設に採用される、というのが特徴。高知県の新県民体育館については、社会体育施設の要素が強いことやプロスポーツのチームが今ないことから、収益性についてそこまで期待はできないため、従来コンセッションが採用されてきた施設とはタイプが違う。

・DBOやPFIについては、運営の目線を設計に反映することや、社会体育施設ではあるもののイベントをある程度実施するところ、その誘致に民間のノウハウを活用するという点でメリットがあり、実際こうした施設には導入例も多い。

ただ、そうした民間ノウハウを発揮するためには、一貫したテーマ性を持ってノウハウを蓄積していくことや、投資の回収なども考えると、サウンディング調査にもあるが、民間事業者側は15年から20年といったある程度の事業期間を確保してほしいという要望があると思う。長期の事業期間というのはすなわち、契約上で県が民間事業者にどこまではやってほしい、もしくはどこまではやっていいといった話を最初に決めて、それを長期間約束するということになる。今回の特殊性ではあるが、プロスポーツチームがこれから立ち上がるかもしれない、そのホームアリーナという要素が出てくるかもしれない。そうなるなら現在よりも見るスポーツへの転換というのが求められるが、事業期間中に運営企業に対して県主導で今後方向性を変えてくださいというのは、なかなか受け入れてもらうのは難しいかもしれない。そのため、事業期間の設定というのは一つ大きな論点になる。

サウンディング調査においても、プロスポーツチームの設立予定を知りたいとか、プロスポーツである程度利用を埋めてほしいという要望があり、やはりその辺が固まらないと民間事業者の事業計画という意味で、事業の性格や、組む相手、あとは採算性等を見極めづらい。そういう意味で、今後の県の方向として、まずプロスポーツチームの設立というものを、どう考えてどういう前提を置くのか。その上で、県としての方向性、つまり民間の長期でのノウハウの発揮を重視するのか、それとも途中で方向転換の柔軟性みたいなものを重視するのか。そうした県の方針に対して、民間事業者がどれほど参入意欲を示してくれるのかというところを、随時、情報収集しながら検討を進めるのが良いと思う。

・PFIについて高知県内では多数事例があるが、県が発注者の案件は高知医療センターの1件だけで、途中で契約解除となっているため、県民や議会の皆さんはもしかすると悪いイメージがあるかもしれないが、PFI制度も一長一短あり、万能ということもなければ、欠陥品ということでもないため、個々の案件において県の実現したいポイントにマッチしているかどうかということ。ただ、不安や疑問がある方も多いと思うため、もしPFIを採用するのであれば、その観点で丁寧に説明する必要があると思う。

#### <石塚委員長>

・資料3-1で整備・運営手法は四つに区分されているが、今の中嶋アドバイザーの説明も踏まえると、現状プロスポーツチームのない状況で、一番右のコンセッション方式で運用するのは少し厳しいと思う。ただ、今後プロスポーツチームができた時に、そのチームが使用して稼働率が上がり、スポーツ振興に本当につながるというところの部分が、対応できる形に持っていくことが大事になってくる。

・真ん中二つのDB+指定管理それからPFI方式、DBO方式が、今のアドバイザーの意見などから有効と感じる。ただ一番左の従来手法も、設計と施工が分かれていることで、やってみただけでも、結局駄目だとなった時に、修正ができないという可能性もあり、またゼロからやり直しということも怖いところだが、ただこれも悪いやり方ではないというところもある。一番右のBT+コンセッション方式は少し難しいと思うが、それ以外の三つについては、この検討会の中でこれでいきましょうという決めるには、今の情報量ではなかなか難しいため、今後パブコメや住民説明の実施も含めて、総合的に考えてこの三つの方式の中からどれにするか検討して欲しい。

#### 【議事（4）】【報告（1）】

・特に意見、質問なし

#### 【議事（5）】

<北村委員>

・香川県のあなぶきアリーナを視察した際に、多目的トイレに配置されてるベッドがすべて子供用になっており、大人が利用できないタイプのベッドになっていた。こうした防災機能も含めるといことであれば、その辺りはもう少し専門的な知識を持った方に入っていただいて、より多くの方がしっかり使えるように検討いただきたい。

## 【報告（2）】

### ＜坂本委員＞

・なかなか都市機能を考えるということは、あんまりないのかなということを改めて実感した。施設自体を活用するということは非常に重要なことだが、やはりその施設が都市構造の一つとしてどういうふうに位置づけられてるのかという観点が不足しており、そういったことが重要ということで今回の話をいただいたと認識している。

・キーポイントは、はりまや橋から徒歩 15 分～20 分圏内にあるということ。これは歩いていける限界が 15 分から 20 分と言われているため、ここのルートをどう考えていくかということがテーマとなっている。

・グループワークの概要でも資料左側にあるように、今回の第 1 回ワークショップでは、施設のことはほとんど考えてない。はりまや橋から、新県民体育館の間までのルートをどのように楽しむような回路にしていくかということが重要になる。そこで、グループワークの概要の真ん中にあるような感じで、例えば最近問題になっている自転車道を作りましょうとか、楽しく歩いて色々な回遊ができるようにしましょう、といったように道路空間をうまく使っていきましょうという提案を、高校生たちにしていただき、最終的に発表した。

・左側のように模造紙に付箋を貼って、こんな感じだと発表するのが、ワークショップのトラディショナルな方法かと思うが、最近は皆さん目が肥えているため、いろんな視点で自分が思ってる賑わいはこうだといったことを、生成 AI を使用し、もう少し具体化をして発表をした。

・非常に色々な意見があり、これを道路空間の高度利用などにつなげていければ良いなということで第 1 回のワークショップは終了した。

## 【まとめ】

### ＜神谷委員＞

・高知市としては、教育的配慮について、昨年度来この検討会でも議論いただき、それを資料 1 でも反映していただいている。

・「教育活動への支障が出ない」と記載いただいているが、皆様承知のとおりこの場所における教育活動は、教育研究所と 4 月から始まった学びの多様化学校での不登校の子どもたちの教育と、あともう一つは青年センターの青少年、いわゆる社会教育という二つの分野があり、この二つについて教育的な配慮をいただいていると認識をしている。

・今後については、市の教育委員会と継続的な協議の場を設けていただけるということなので、具体的な内容についてはそうしたところで改めて議論をさせていただければと思う。先ほど、整備や運営手法についての議論があったが、計画をつくるだけでなく、工事中にどういうところで調整が必要であるとか、運営が始まってからの実際の運用方法など、そうした部分でも関わってくるところが多くあると思うため、引き続きよろしくをお願いしたい。

#### <石塚委員長>

・駐車場について一番最初の資料で確認をさせていただいたが、本当に数は足りるのかというところで、駐車場の台数は「250台以上」となっているが、実際の整備台数は300台なのか、400台なのかといったところは、整備費用との兼ね合いも当然出てくると思う。

・この点は、渋滞も含めていろんな懸念事項があると思う。ただ、駐車場機能というのは絶対必要ということだと思つたため、その規模感などは検討会で確定できるものではないので、ぜひこのあたりを県の方に決めていただきたい。

・特に資料1の部分はこういう形で、計画案としてはこうした形で作った上で、住民への説明それからパブコメも含めて、住民からの意見を踏まえた形でしっかり検討いただいて、県が責任を持って対応していただきたい。

・次回検討会で、しっかり検討いただいたものをまとめて、基本計画案を説明いただきたい。

#### <事務局>

・今後基本計画案をまとめて、次回検討会にてご意見をいただきたい。本日は、運営の部分について、アドバイザーの中嶋様から、貴重なご示唆をいただいた。社会体育施設の観点、それからプロスポーツチームが今はなく、将来に向かってこれからつくっていくという状況であること、それから、民間事業者の参入意欲といった観点をしっかり踏まえて、どの手法が本県にとって適切であるのかということ、早急に県の方でも詰めていくため、引き続きご意見をいただきたい。

### 3 閉会